

東京都知事は誰になる？ 「舛添 要一氏」になる。

今は原稿執筆中なのですが、気にかかるのが猪瀬直樹氏辞任後の都知事選の行方です。はたして誰が選ばれるのか？弊誌が出るころには、結果はすでに決まっているので残念だと思っていたら、なんとか間に合いました。

『校正』の時期があったのです。

新しい東京都の知事は舛添要一氏に決まりました。自民党と公明党の組織のパワーはなかなか凄まじいものがあり、宇都宮氏、細川氏、田母神俊雄氏を抑えて大量得票です。

安倍晋三首相率いる自民党はなぜか「舛添 要一氏」の応援に引っ張り出され、宣伝カーの上に乗っていました。非常に奇異なものを感じたのですが安倍晋三首相が応援をすると、強いですね。

しかし、安倍晋三首相は自民党を『除籍処分』された「舛添 要一」氏を本当に応援をしたかったのでしょうか？「本当はいやなのですが・・・」と、ひとこと前置きをおくべきでしょう。

◆なぜ、舛添要一氏の前の奥さま(片山さつき議員)は応援演説に駆けつけなかったのでしょうか？これからも、さんざんタカカレるでしょうね。

◆なぜ、安倍晋三首相は候補者の中でもっとも安倍晋三首相を支持している田母神俊雄氏の応援演説に駆けつけなかったのか？不思議でなりません。

◆安倍晋三首相の足を掬う輩には十分に注意すべきですね。

◆新聞各社、NHKを含め、テレビでは「田母神俊雄」候補を泡沫候補のように取り扱っています。

ネットでは「田母神俊雄」候補は断然トップの調査結果でしたが、61万票と第4位。組織票には適わなかった、ということなのです。



『安倍晋三論』 田母神俊雄著
ワニブックス